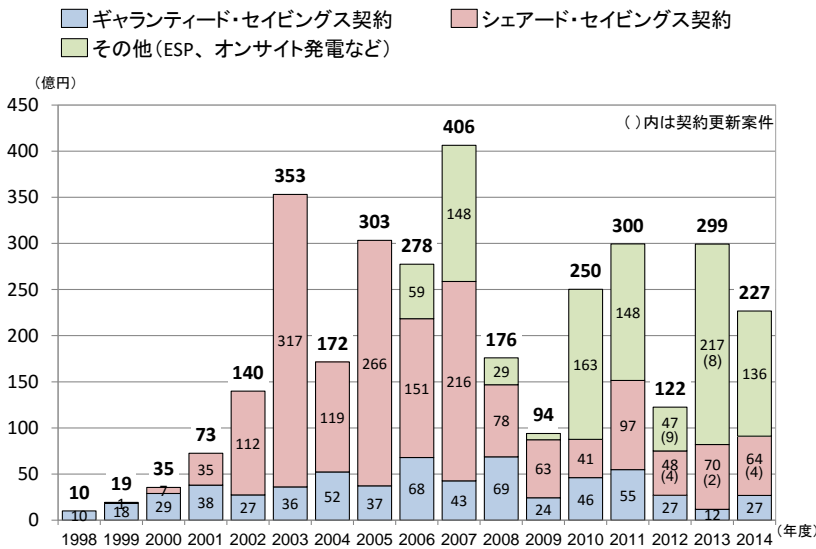


ESCO 事業の市場動向（市場規模・対象施設・採用技術）

2016年7月 一般社団法人 ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会

※本調査結果は、当協議会会員の情報のみを基に作成しております。

ESCO 事業の市場規模の推移



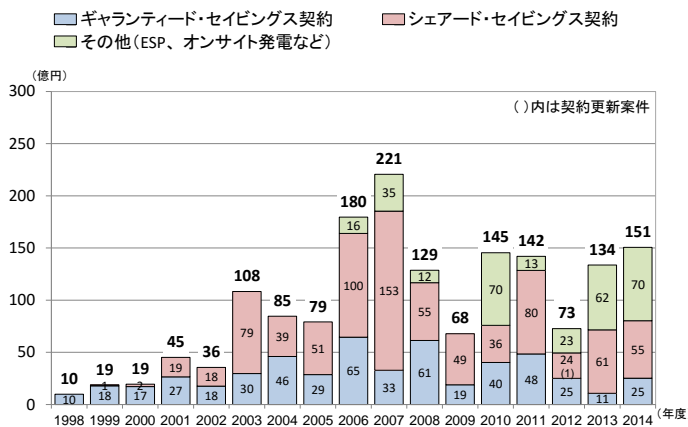
ESCO 事業は 2008～2009 年度に経済の低迷により事業規模は大きく減衰し、2009 年度に 100 億円を割るまで縮小しました。

その後、2010 年度以降 ESP・オンサイト発電が大きく増加、2011 年度には 300 億円へと回復しました。2012 年度は一旦減少したものの、2013 年度には ESP・オンサイト発電、等が産業部門で過去最高を記録し、シェアード・セイビング契約も増加した結果、299 億円に達しました。

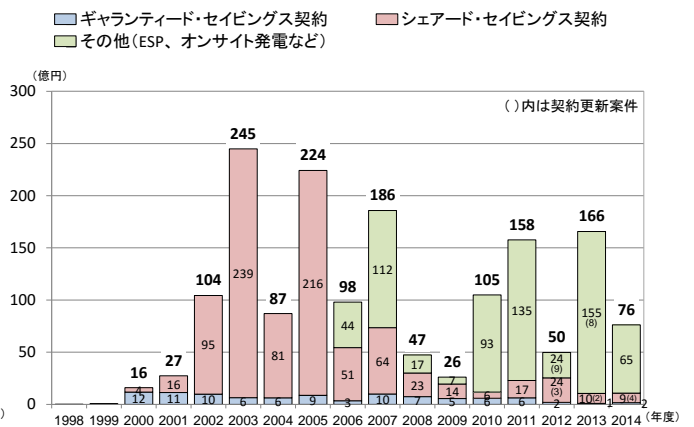
2014 年度は、ギャランティード・シェアードは堅実に復活しながらも、産業部門の ESP・オンサイト発電の減少により 227 億円にとどまりました。

※2006 年度調査からは ESCO のパフォーマンス契約に含まれていた「ESP・オンサイト発電」を別項目として調査、集計しています。

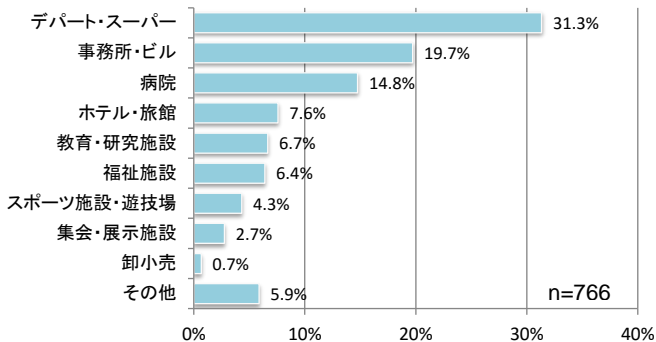
業務用 ESCO 事業の契約別受注金額



産業用 ESCO 事業の契約別受注金額

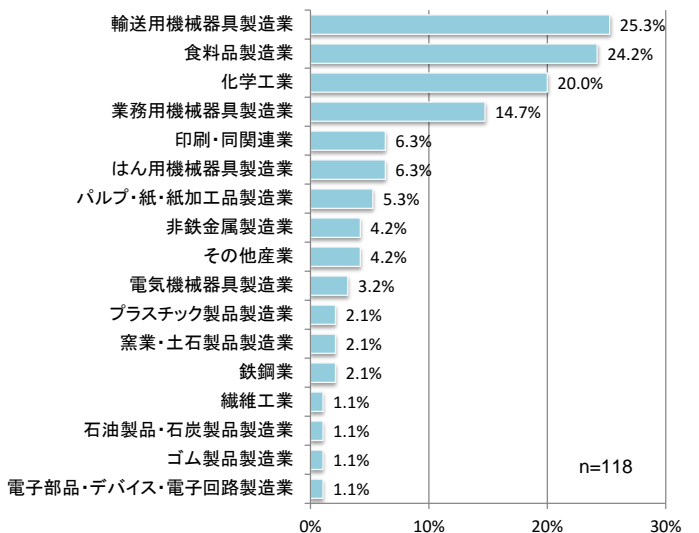


業務用 ESCO 事業における対象施設



2001 年～2014 年度の 14 年間に実施された ESCO 事業導入対象施設は、業務用ではデパート・スーパーなどの商業施設が最も多く、次に事務所及び病院でした。産業用では、輸送用機器製造業や食料品製造業、化学工業などで多く導入されています。

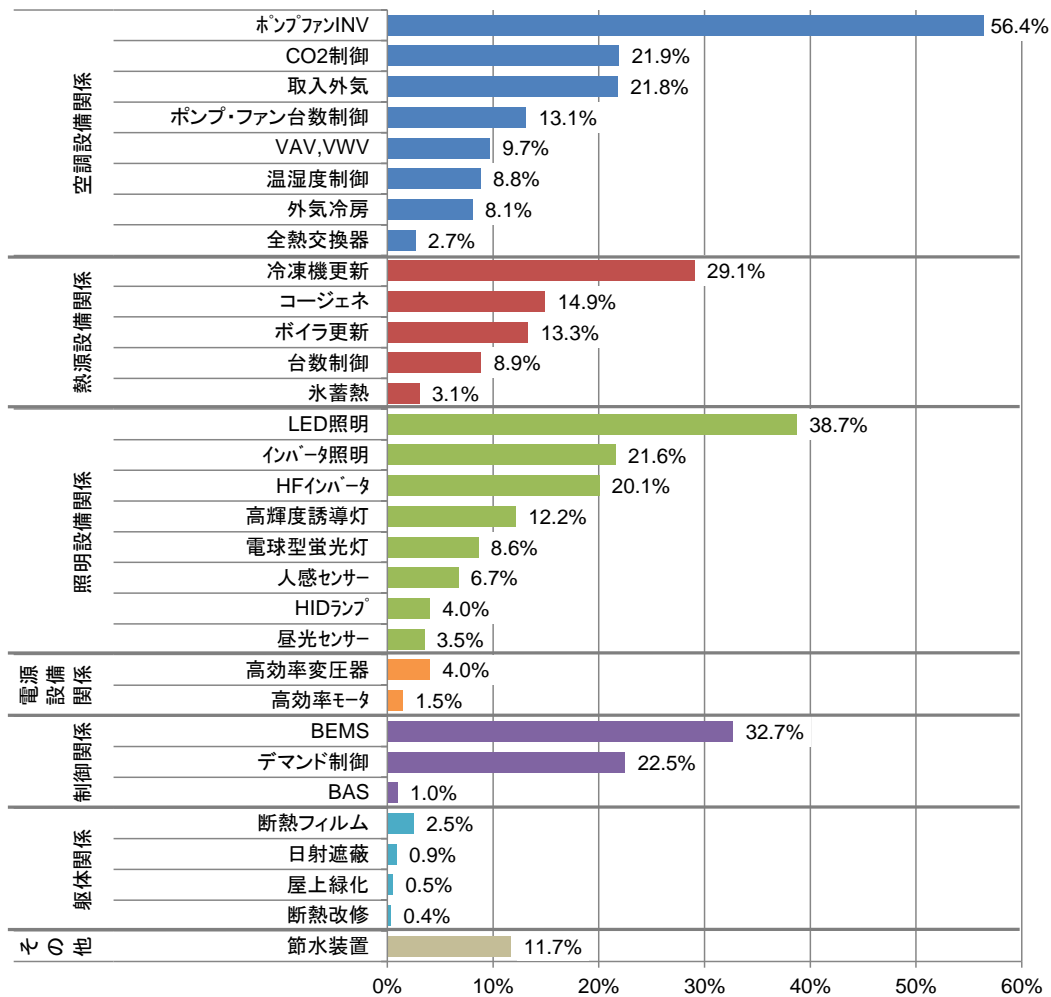
産業用 ESCO 事業における対象施設



ESCO 事業で採用されている省エネ技術

(2001年～2014年度の事業を対象に集計)

業務用



産業用

